

# 福島第一原子力発電所現地確認報告書

## 1 確認日

令和8年 2月19日 (木)

## 2 確認箇所

- ・No. 3、4重油タンク跡地周辺（5・6号機南東側）（図1）
- ・純水タンク脇炉注水ポンプ（1号機タービン建屋北側）（図1）

## 3 確認項目

- (1) サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策工事の状況
- (2) 純水タンク脇炉注水ポンプの設置状況

## 4 確認結果の概要

- (1) サプレッションプール水サージタンク周辺における油含有土壌対策工事の状況

平成23年3月に発生した東日本大震災の津波により、5・6号機のサプレッションプール水サージタンク（以下「SPT」という。）及びNo. 3、4重油タンク（令和3年3月撤去済）が損傷を受け、油が流出し、周辺土壌に浸透した。周辺土壌からの港湾への重油漏えいは確認されていないが、東京電力は、重油タンク周辺の抜本的な対策として周辺地盤の封じ込め工法を基本とした油含有土壌対策工事\*を計画している。

今回は、先行掘削状況及び当該エリア内の状況を確認した。（前回確認：令和7年10月8日）

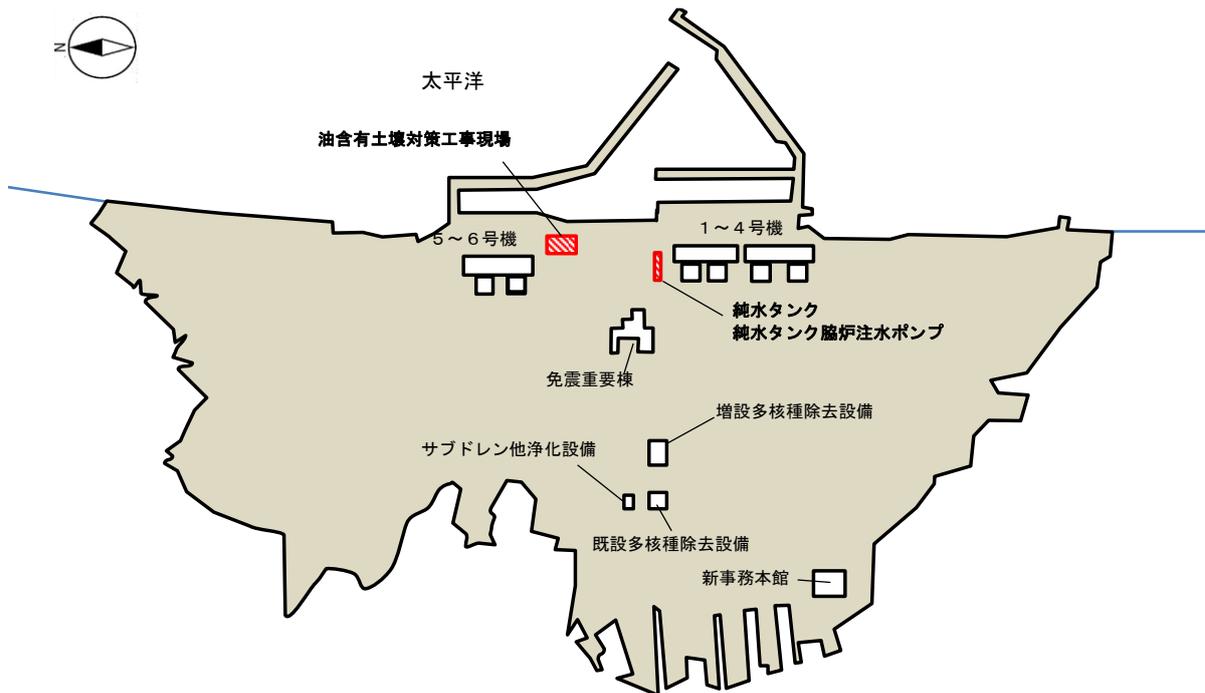
- ・前回の確認時においては、SPTポンプ室の撤去を確認、撤去に伴い発生した瓦礫類が分類、仮置きされていた。今回の確認時では、これらの瓦礫類の搬出は完了していた。
- ・油含有土壌対策工事に伴う試掘工として土壌の先行掘削作業も行われており、その際、発生したコンクリート塊、単粒度碎石など旧防波堤の設置に伴って地中に埋設されたものなどが種類別に分別・仮置きされていた。なお、確認した範囲では、撤去物や埋設物の飛散及び油膜発生等の異常は認められなかった。（写真1）
- ・当該エリア南側（サージタンク脇）から先行掘削作業が開始されており、掘削した土砂を重機脇の作業エリア内に引き上げ、掘削土砂と土砂内に含まれている単粒度碎石等を分別する作業が実施されていた。重機と作業員の接触を防止するため、作業員同士が声を掛け合いながら、安全に作業が進められていた。（写真2）

※ 重油が浸透しているエリアの周辺に鋼矢板を打設する。また、一部区域については、表土の油処理や薬液注入・地盤固化工事を行う。

## (2) 純水タンク脇炉注水ポンプの設置状況

原子炉注水系バックアップシステムの1つである純水タンク脇炉注水ポンプ（以下「炉注水ポンプ」という。）の状況について確認を行った。（前回確認：令和7年4月30日）

- ・炉注水ポンプは1号機タービン建屋北側に設置されていた。
- ・炉注水ポンプ及び電源盤はそれぞれ3台設置されていた。（写真3）
- ・確認した範囲では、ポンプ及び配管からの漏水は見られなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) SPTポンプ室の外観  
※令和7年8月5日撮影



(写真1-2) SPTポンプ室撤去後の状況  
※令和7年10月8日撮影



(写真1-3)  
SPT ポンプ室撤去後のエリアには、ケーシングチューブなど掘削用アタッチメントが仮置きされている。



(写真1-4)  
先行掘削に伴い生じた埋設物の仮置き状況



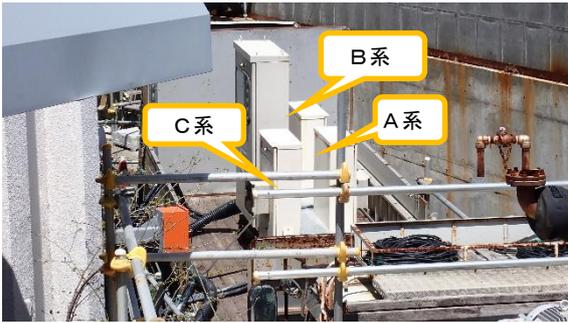
(写真2-1)  
掘削作業の状況①  
(掘削土砂内の礫類は、手前のブルトーンで仕分けを行う)



(写真2-2)  
掘削作業の状況②



(写真3-1)  
炉注水ポンプの設置状況



(写真 3-2)  
炉注水ポンプ電源盤の設置状況



(写真 3-3)  
炉注水ポンプ及びユニット架台の  
設置状況①



(写真 3-4)  
炉注水ポンプ及びユニット架台の  
設置状況②  
(全体設置状況及び注意喚起用シール  
貼付)

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。